

令和3年度 第1回香南市地域公共交通会議  
会議録概要

日時:令和3年7月9日(金)14時00分~15時30分

場所:香南市役所本庁3階 304・305・306 会議室

委員:田内会長、坂本委員、今西委員、中村委員、山本委員、野島委員、松山委員、金谷委員、  
横山委員、吉田副会長、山本委員、出海委員、土居委員、長谷川委員、山中敦志委員、  
菅原委員(林委員代理)、明神委員(宅間委員代理)、山下委員、都築委員

\*\*\*\*\*

## 1 開会

事務局より委員20名のうち19名が出席しているため、香南市地域公共交通会議設置条例に基づき会議が成立することを報告。

## 2 香南市地域公共交通会議について

事務局より参考資料②香南市地域公共交通会議設置条例について説明。

## 3 自己紹介

各委員より自己紹介。

## 4 議事

### (1) 香南市地域公共交友計画策定について

事務局より資料1を説明。以下意見交換。

(委員) 計画期間について決めているか。

(事務局) 計画期間は概ね5年と考えている。今後協議していく中で、他の計画の整合性を踏まえて検討していきたい。

(会長) 計画期間は5年であり、毎年見直し行うという認識でよいか。

(事務局) 計画策定後、毎年年末に会議を開催し、進捗管理や報告など毎回見直しを行う予定である。

(会長) 見直しの役割を地域公共交通会議が担っていくことになる。ご了承いただきたい。

### (2) 策定スケジュールについて

事務局より資料2を説明。

(会長) 本スケジュールで進めていく流れでご了承いただきたい。

### (3) 各種調査について

事務局より資料3-1~資料3-3を説明。以下意見交換。

(委員) アンケート調査について、調査の対象者を15歳以上3,000人としている。公共交通を利用する方々の多くは交通弱者であり、足を確保してほしい方達がメインになる。そのため、3,000人の中でも、高齢者の方を多く集められると良いかと思う。70歳あるいは75歳以上がどのくらいいるか分からないが抽出されてはどうか。15歳以上となると、徒歩や自転車、車など公共交通はあまり利用される人は

少ないと思う。高齢者の意見が欲しく、「利用したいけど混んでいる」「足が悪くてバス停まで行けない」などの意見が聞けると良い。

(会 長) 調査対象者 3,000 人のうち高齢者を多めに配布するよう設定できるか。

(事務局) 現時点では特に年齢別に抽出するという考えはないが、実際高齢者の利用が多いため、利用者調査の中で高齢者の意見を拾っていきたいと考えている。アンケートについては、幅広い方々の意見を聞き、公共交通の在り方を考えていきたい。普段公共交通を利用していない方々がどのくらいいるのか。そういったことも把握し、今後の公共交通についてどのように確保していくかの考えを聞いていきたい。

(会 長) アンケート調査票案の問1(3)年齢について、60歳代のみ「60～64歳」「65～69歳」と分かれているのはなぜか。60歳代は年齢構成のサンプリングを多めにするということが意図されているのか。

(事務局) 高齢者の65歳の区切りで分析するために分けている。また、市の実態として高齢化率が進んでいるので、このようなアンケート調査では高齢者からの返答が自然と多くなる傾向にある。年齢別に同じ数を配布するわけでないので、高齢化が高い地域は高齢者に多く配布することになるのでご理解いただきたい。

(委 員) 問1(7)自動車の所有状況について、車は持っていないがバイクに乗っている方や普段自転車に乗っているという方もいるため、分けて聞いた方が良いと思う。車だけに限らず、普段の移動手段について何を利用しているか聞いた方が良い。

(事務局) 問2「日常の外出行動について」(6)で、普段どのような交通手段を使っているかを聞いている。ご指摘のように前段で移動手段について聞いてもよいかと考える。

(会 長) 設問については再度検討していただきたい。

(委 員) アンケートの対象について、15歳以上3,000人ということになっている。野市から通学する子どもの状況も知りたいと思いつつ、3,000人を完全な無作為抽出すると、人口の集中する地区ばかり集まり意見が拾えなくなるかと思う。郊外で苦労している人の意見が聞けなくなってしまうのではないかと。配布については地区のバランスは考えるべきかと思う。

また、問2「日常の外出行動について」について、最も頻度の多い外出目的だけに引っ張られていると思う。高齢者によっては、病院は鉄道やバスを乗り継ぎし、買い物は身近なところで済ませたり、病院の帰りに済ませたりする等、色々な手段があると思う。そのように考えると、外出行動の設問については、「通院」と「買い物」は最低でもあるべきかと考える。

(会 長) 3,000人の年齢構成とともに、地区別の人口も考慮をお願いする。

(事務局) 指摘通り対応する。

アンケート調査の問2最も多い外出頻度については複数選べるように対応していきたい。

(委 員) 交通利用者調査について、水曜日となっているが理由があるか。

(事務局) 平日真ん中の日ということで水曜日に設定しているが、特定の事業者が水曜休みで別日が良ければ木曜日調査もあるかと思う。ひとまず水曜日に設定している。

(委 員) ビンゴカードについて、バスの車内に乗った調査員がアンケートの依頼をすると思うが、ODも分かるよう調査いただきたい。

(事務局) OD調査が目的で、どこに乗ってどこで降りたか記入をするのは表面で調査員が印をつけるようになっている。

(委 員) この計画は市単独の計画であるが、広域についてはどのようにお考えか。県東部全体で見たとき、香南市の交通結節機能や商業施設の集約を考えると、特に南北のアクセス、香美市との関係が課題で

あり、香美市から南に降りる手段がない状況である。今回の計画では香南市だけの中の計画にはなるものの、例えば、香南市と香美市で南北へ行き来できるコミュニティバスの視点や、空港からの交通結節などの視点があれば、繋がりが良くなるのではと考える。

(会 長) この計画は香南市内での策定エリアになるのか、または、他自治体に跨る策定は可能なのか。

(事務局) 今回の計画区域は香南市内で検討するものであるが、本計画とは別に香美市との連携は必要であると考えている。住民からも香美市のアクセスについては意見をいただいている。そのため、香美市の交通事業者との協力、また、香美市も公共交通計画を来年度策定予定と伺っており、そのような点で連携については並行して考えていきたい。

(会 長) 本計画のエリアは香南市が対象となる。県東部広域地域公共交通に参加しており、そこでは、のいち駅から香美市のアクセス、また、空港のアクセスも課題としてあがっていることは認識している。今回の計画の範囲は、あくまでも香南市とご理解いただきたい。

以上